

# 東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成21年7～9月期

## 【調査結果のポイント】

- 「業況DI」(全業種)は、依然として厳しい水準ながら、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。特に来期見通しは▲41.7と前回調査時に比べ+12.3ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。(1、2ページ参照)
- 「売上DI」(全業種)は、依然として厳しい水準ながら、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。特に来期見通しは▲43.2と前回調査に比べ+13.3ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。(3、4ページ参照)
- 「採算DI」(全業種)は、今期水準が▲20.2と前回調査に比べ+5.9ポイントとなり、7期ぶりにマイナス幅が縮小に転じた。前年同期比、来期見通しでもマイナス幅が縮小した。(5、6ページ参照)
- 「資金繰りDI」(全業種)は、今期水準が横ばい、前年同期比と来期見通しではマイナス幅が縮小した。(7、8ページ参照)
- 「民間金融機関の貸出姿勢DI」(全業種)は、前年同期比、今期水準ともに横ばいとなった。(9、10ページ参照)

## 【調査要領】

- 調査期間：平成21年8月26日～9月1日
- 調査対象：東京23区内の中小企業2,386社
- 調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢
- 調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り
- 回答数：914社(回答率38.3%)

※有効回答企業の業種別構成

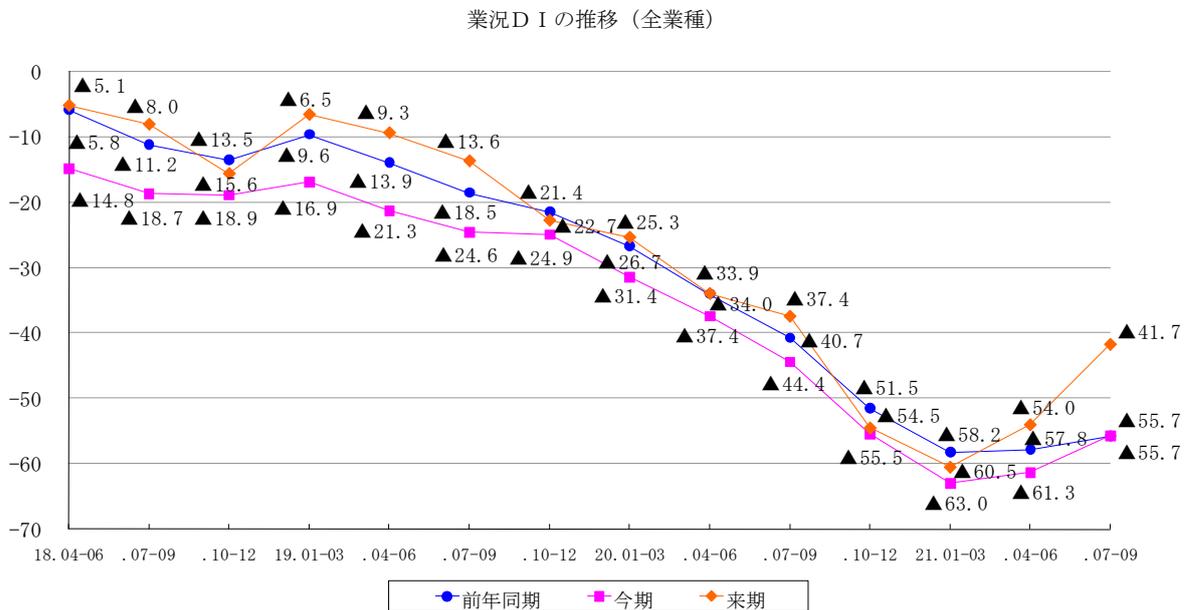
- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| ・製造業 243社(26.6%) | ・建設業 119社(13.0%)   | ・小売業 129社(14.1%) |
| ・卸売業 151社(16.5%) | ・サービス業 272社(29.8%) |                  |

平成21年10月

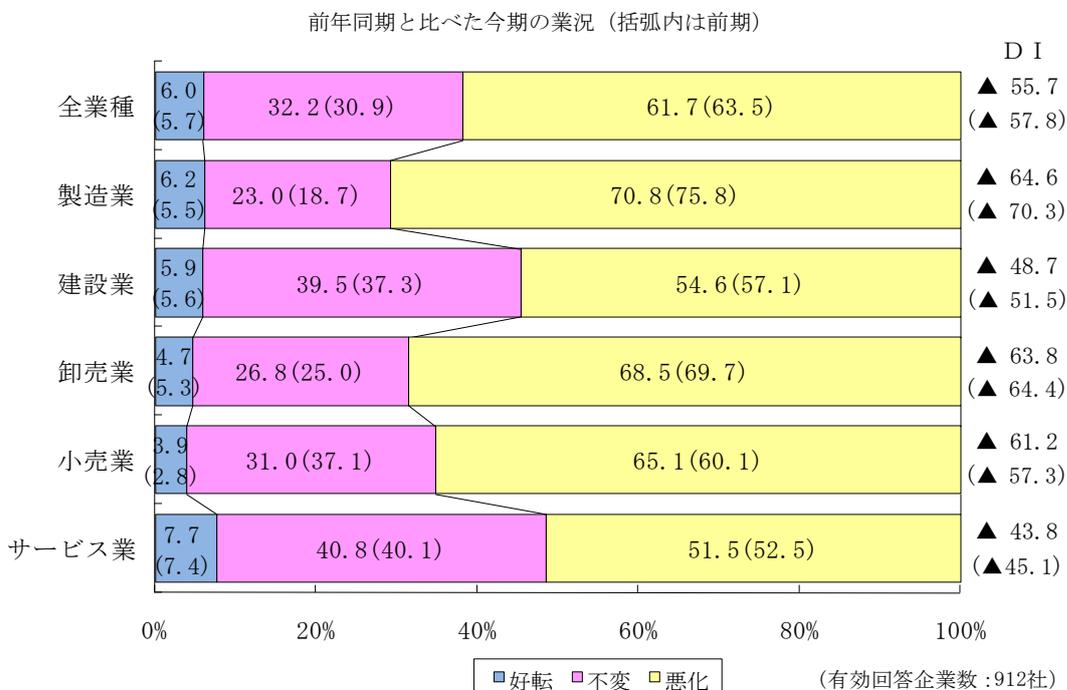
東京商工会議所 中小企業部

# 1. 業況

○全業種の「業況DI」は、依然として厳しい水準ながら、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。特に来期見通しは▲41.7と前回調査時に比べ+12.3ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。

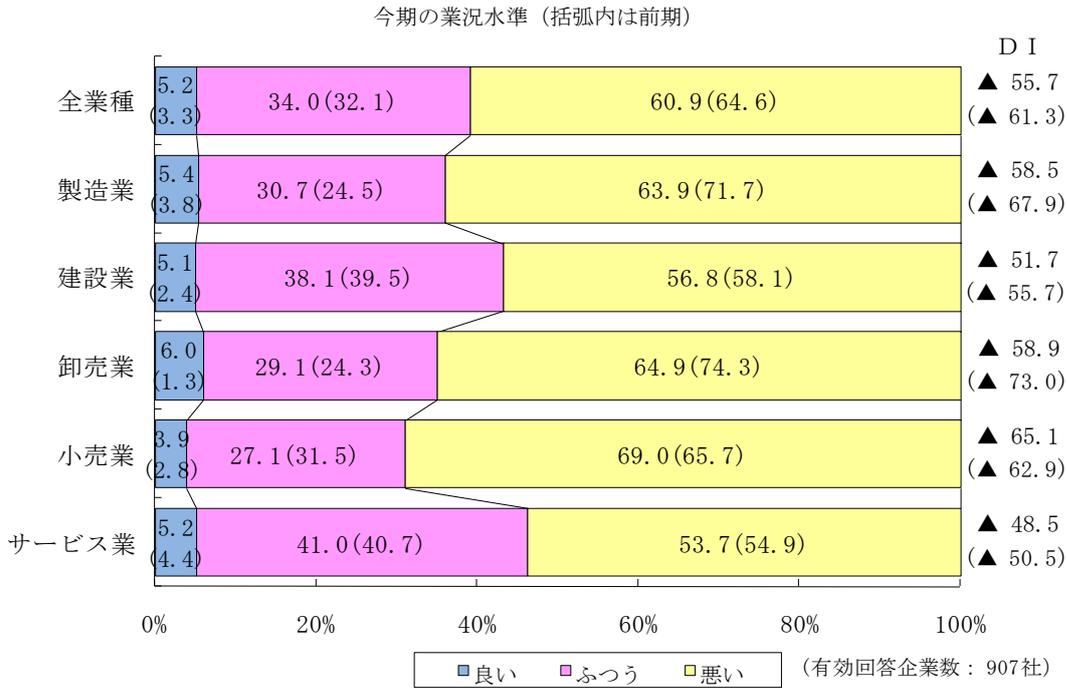


【質問1】前年同期（平成20年7～9月期）と比べた今期（平成21年7～9月期）の業況（自社）はどうか。



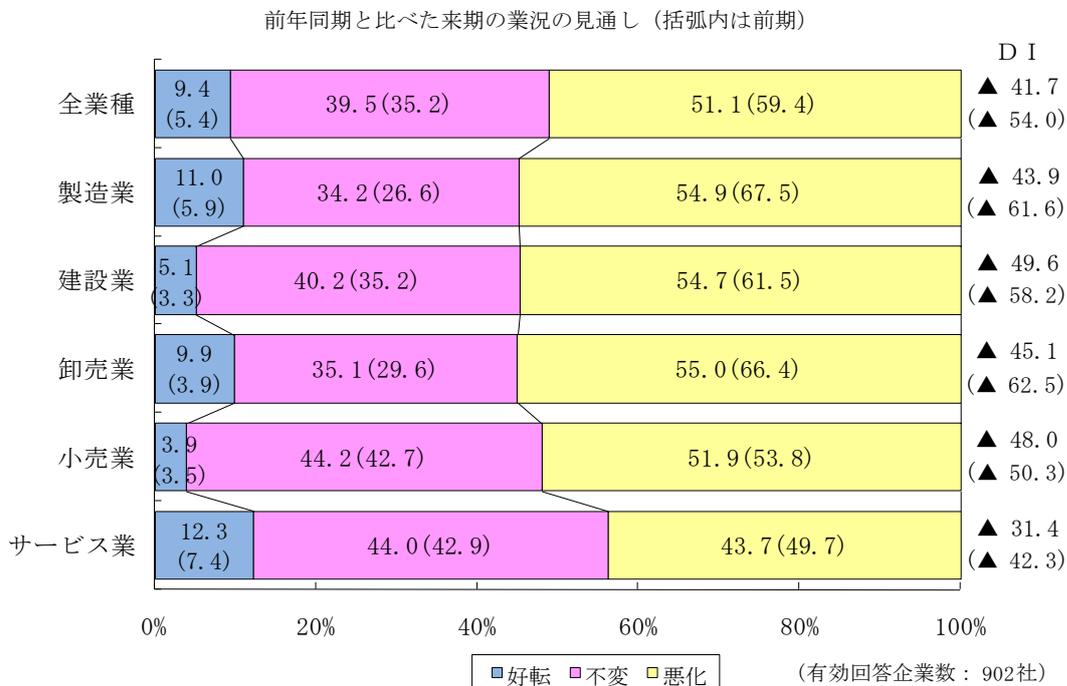
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲55.7と前回調査に比べ+2.1ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・小売業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に製造業では▲64.6と前回調査時に比べ+5.7ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。

【質問2】 今期（平成21年7～9月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の業況水準DI」は▲55.7と前回調査に比べ+5.6ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・小売業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。

【質問3】 前年同期（平成20年10～12月期）と比べた来期（平成21年10～12月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

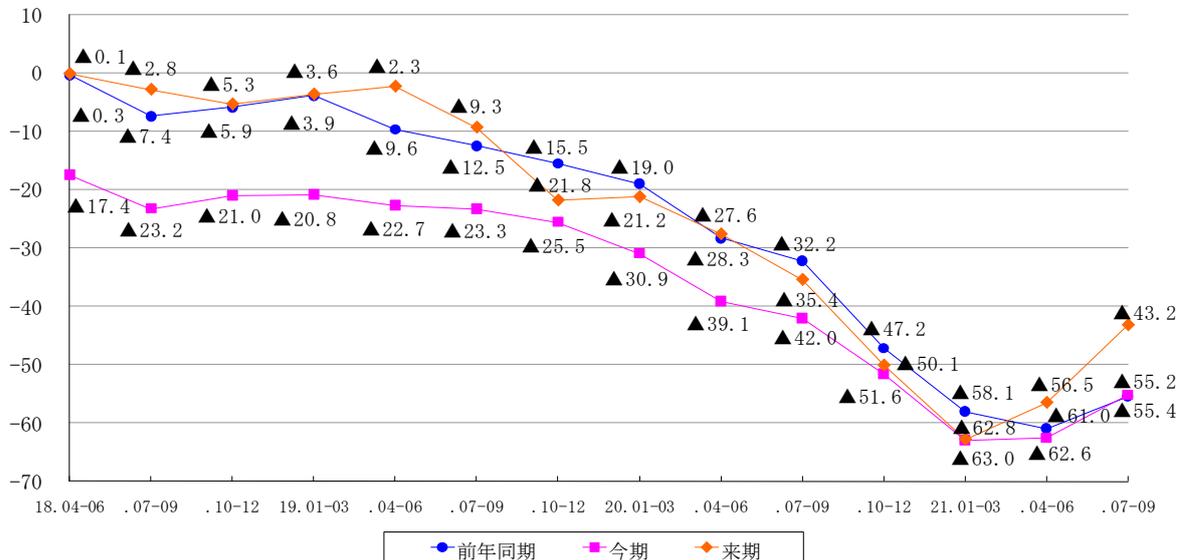


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通しDI」は▲41.7と前回調査に比べ+12.3ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に製造業では▲43.9と前回調査に比べ+17.7ポイント、卸売業では▲45.1と前回調査に比べ+17.4ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。

## 2. 売上

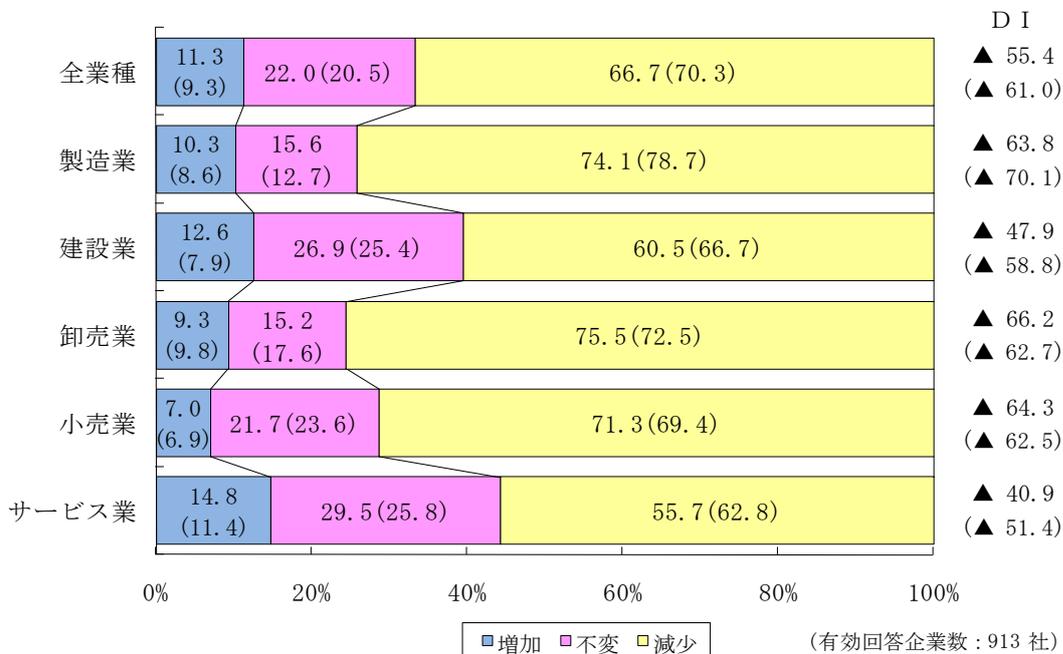
○全業種の「売上DI」は、依然として厳しい水準ながら、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。特に来期見通しは▲43.2と前回調査に比べ+13.3ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。

売上DIの推移（全業種）



【質問4】前年同期（平成20年7～9月期）と比べた今期（平成21年7～9月期）の売上状況はどうか。

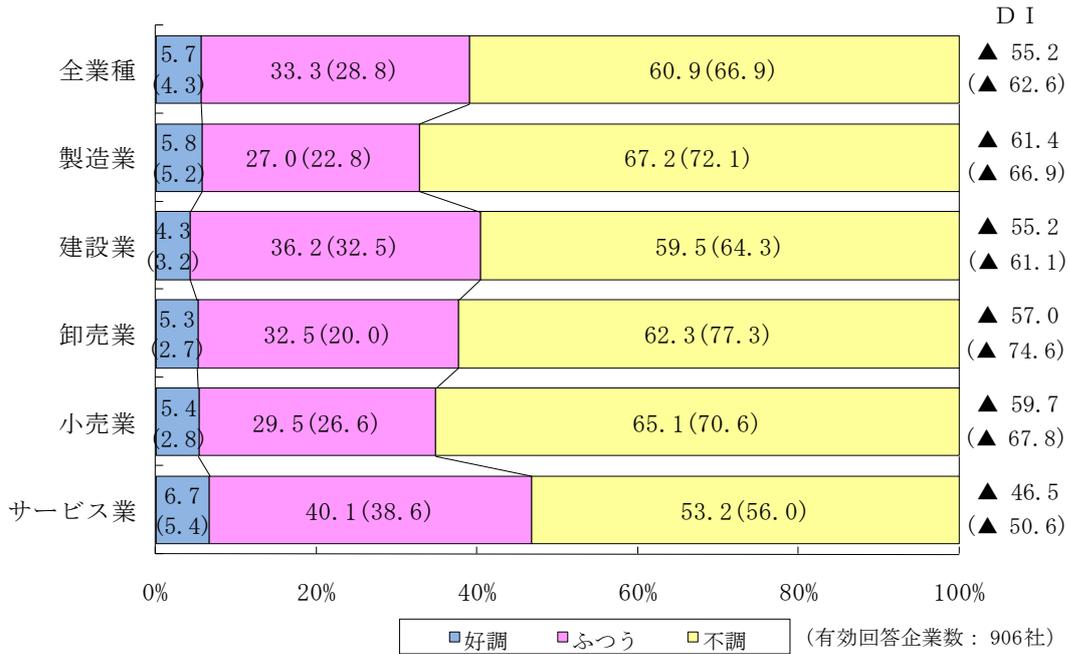
前年同期と比べた今期の売上状況（括弧内は前期）



- 全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲55.4と前回調査に比べ+5.6ポイントとなり、10期ぶりにマイナス幅が縮小に転じた。
- 卸売業と小売業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に建設業では▲47.9と前回調査に比べ+10.9ポイント、サービス業では▲40.9と前回調査に比べ+10.5ポイントとなり、マイナス幅が大幅に縮小した。

【質問5】 今期（平成21年7～9月期）の売上水準をどのように感じますか。

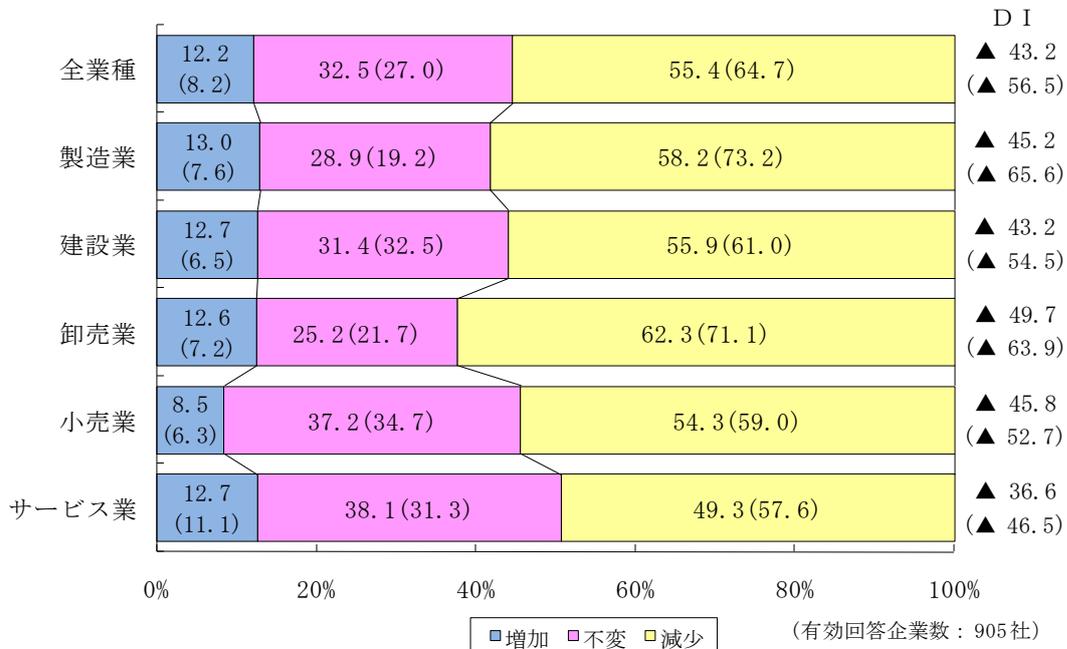
今期の売上水準（括弧内は前期）



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は▲55.2と前回調査に比べ+7.4ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に卸売業では▲57.0と前回調査に比べ+17.6ポイントと、マイナス幅が大幅に拡大した。

【質問6】 前年同期（平成20年10～12月期）と比べた来期（平成21年10～12月期）の売上の見通しはどうか。

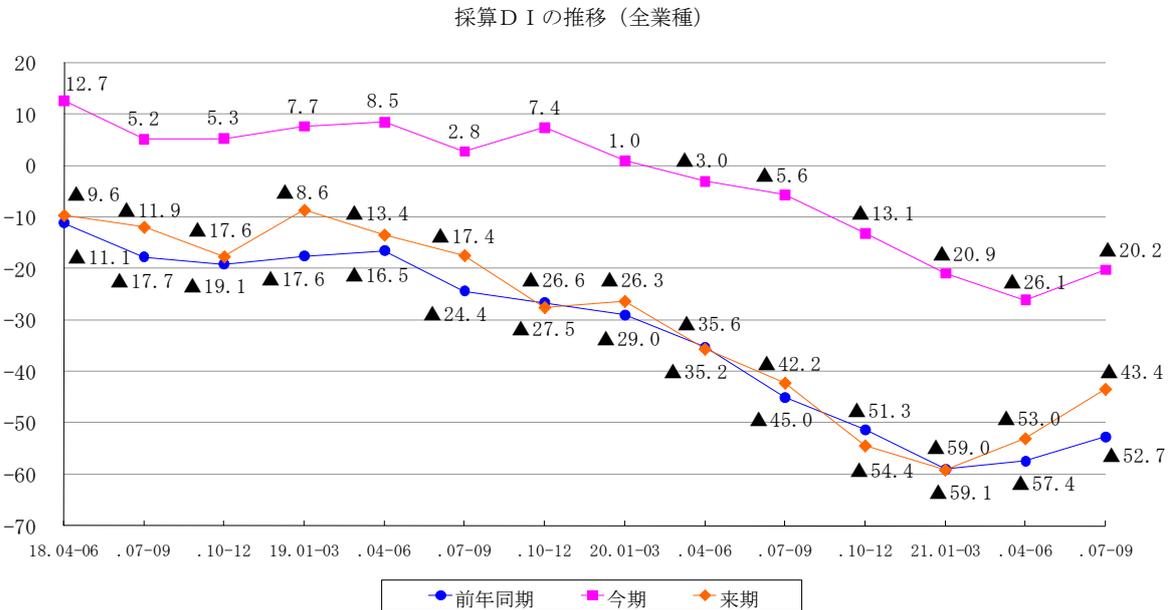
前年同期と比べた来期の売上の見通し（括弧内は前期）



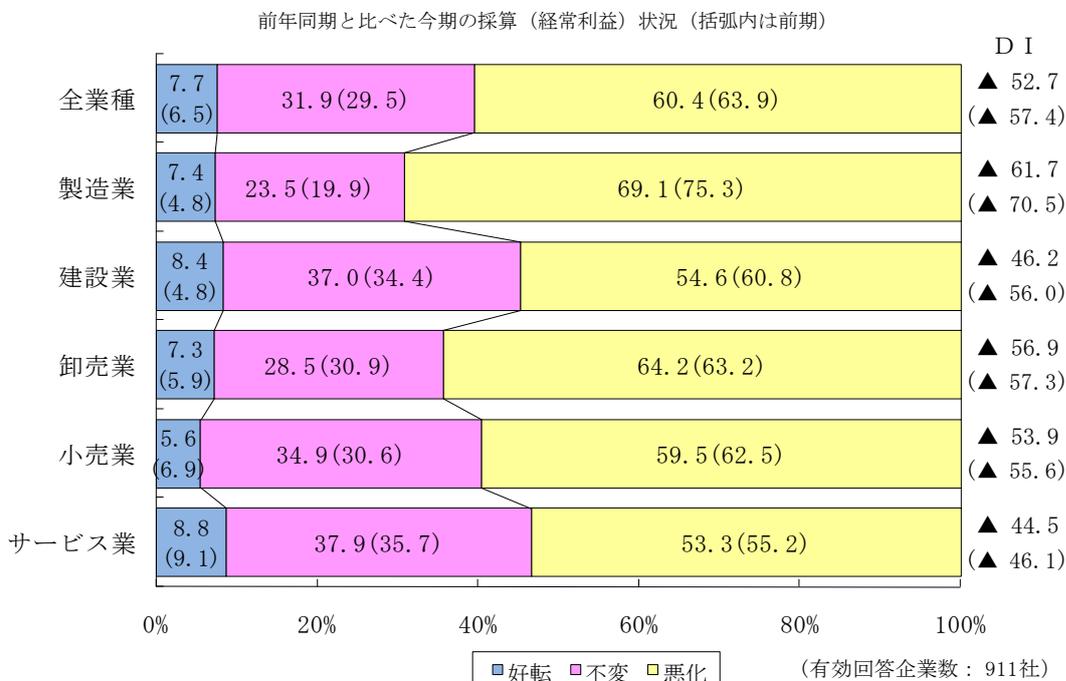
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は▲43.2となり、前回調査に比べ+13.3ポイントとなり、大幅にマイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に製造業では▲45.2と前回調査に比べ+20.4ポイント、卸売業では▲49.7と前回調査に比べ+14.2ポイントとなり、マイナス幅が大幅に縮小した。

### 3. 採算（経常利益）

○全業種の「採算DI」は、今期水準が▲20.2と前回調査に比べ+5.9ポイントとなり、7期ぶりにマイナス幅が縮小に転じた。前年同期比、来期見通しでもマイナス幅が縮小した。

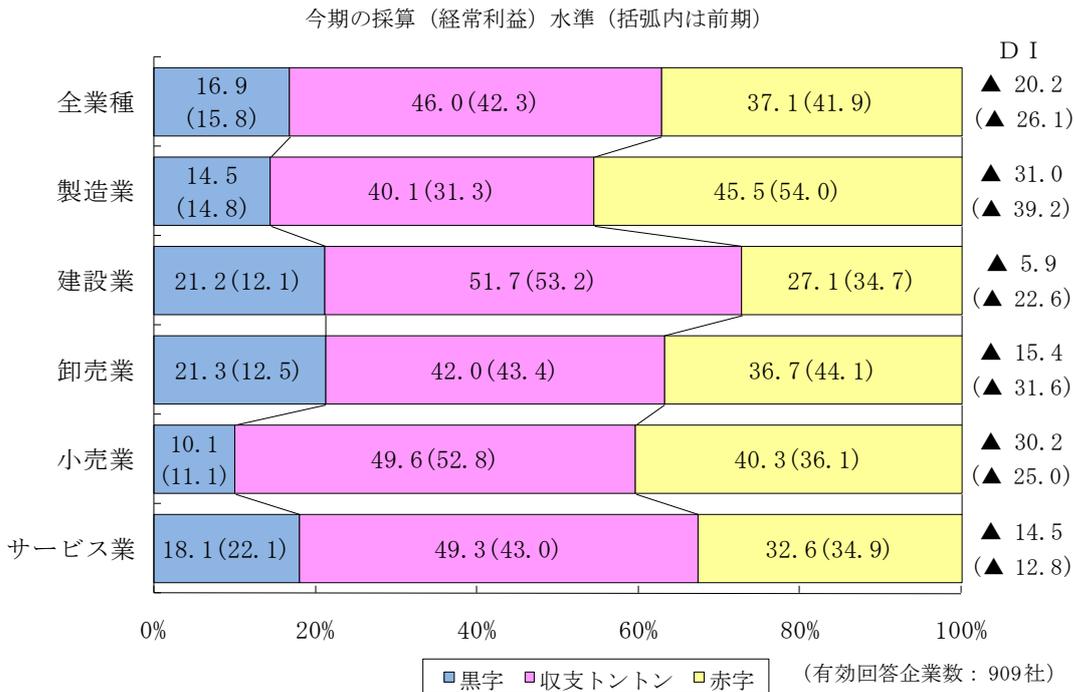


【質問7】前年同期（平成20年7～9月期）と比べた今期（平成21年7～9月期）の採算（経常利益）状況はどうか。



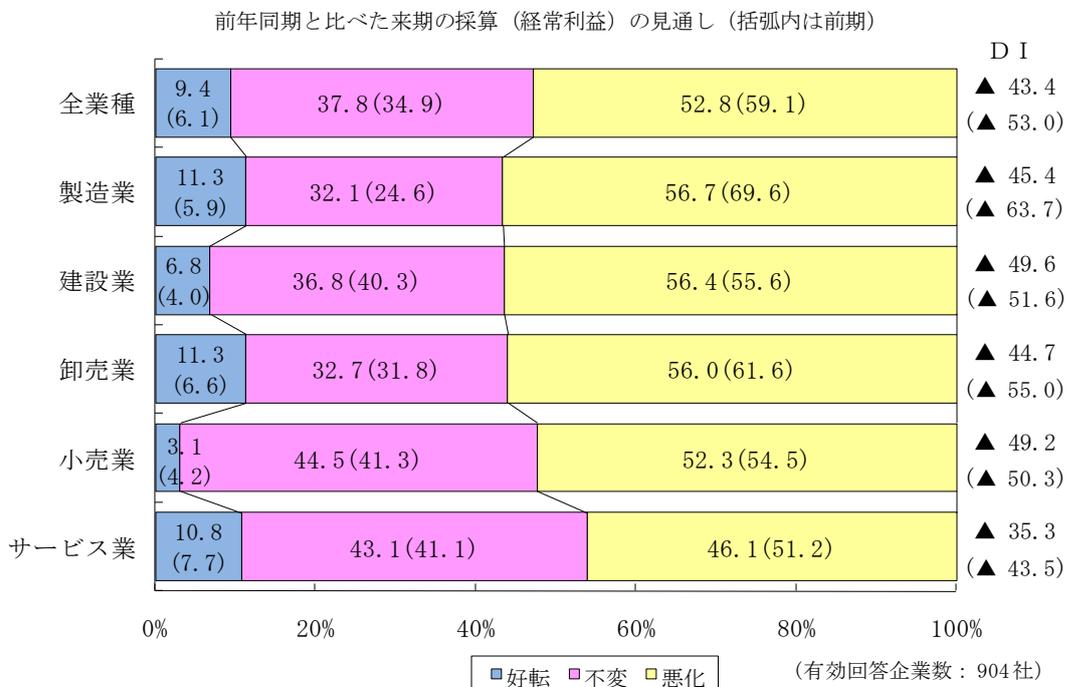
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲52.7と前回調査に比べ+4.7ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に製造業では▲61.7と前回調査に比べ+8.8ポイント、建設業では▲46.2と前回調査に比べ+9.8となり、マイナス幅が大幅に縮小した。

【質問8】 今期（平成21年7～9月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準DI」は▲20.2と前回調査に比べ+5.9ポイントとなり、7期ぶりにマイナス幅が縮小に転じた。
- ・小売業ではマイナス幅が拡大、サービス業ではほぼ横ばいとなり、その他の業種ではマイナス幅が縮小した。特に建設業では▲5.9と前回調査に比べ+16.7ポイント、卸売業では▲15.4と前回調査に比べ+16.2ポイントと、マイナス幅が大幅に縮小した。

【質問9】 前年同期（平成20年10～12月期）と比べた来期（平成21年10～12月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。

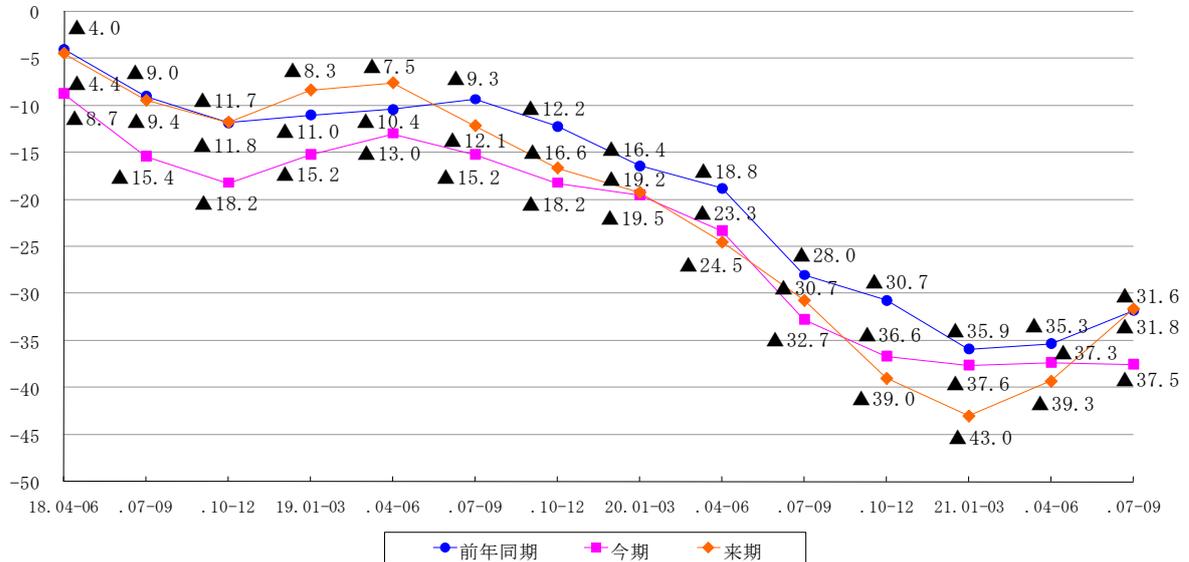


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は▲43.4と前回調査に比べ+9.6ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・小売業、建設業ではほぼ横ばいとなり、その他の業種ではマイナス幅が縮小した。特に製造業では▲45.4と前回調査に比べ+18.3、卸売業では▲44.7と前回調査に比べ+10.3となり、大幅にマイナス幅が縮小した。

## 4. 資金繰り

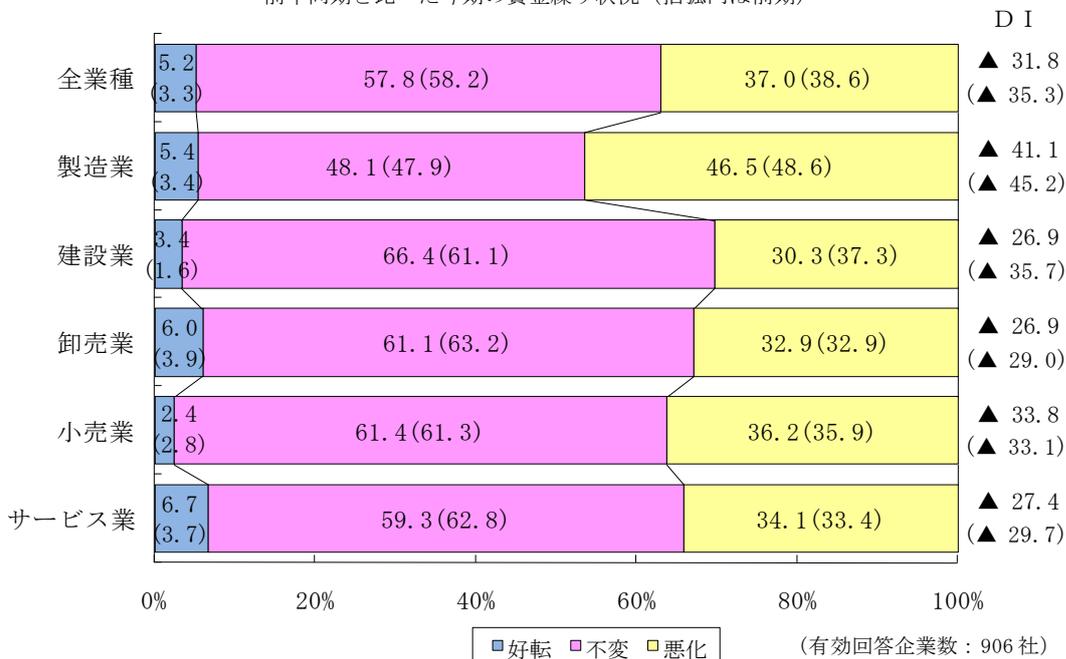
○全業種の「資金繰りDI」は、今期水準が横ばい、前年同期比と来期見通しではマイナス幅が縮小した。

資金繰りDIの推移（全業種）



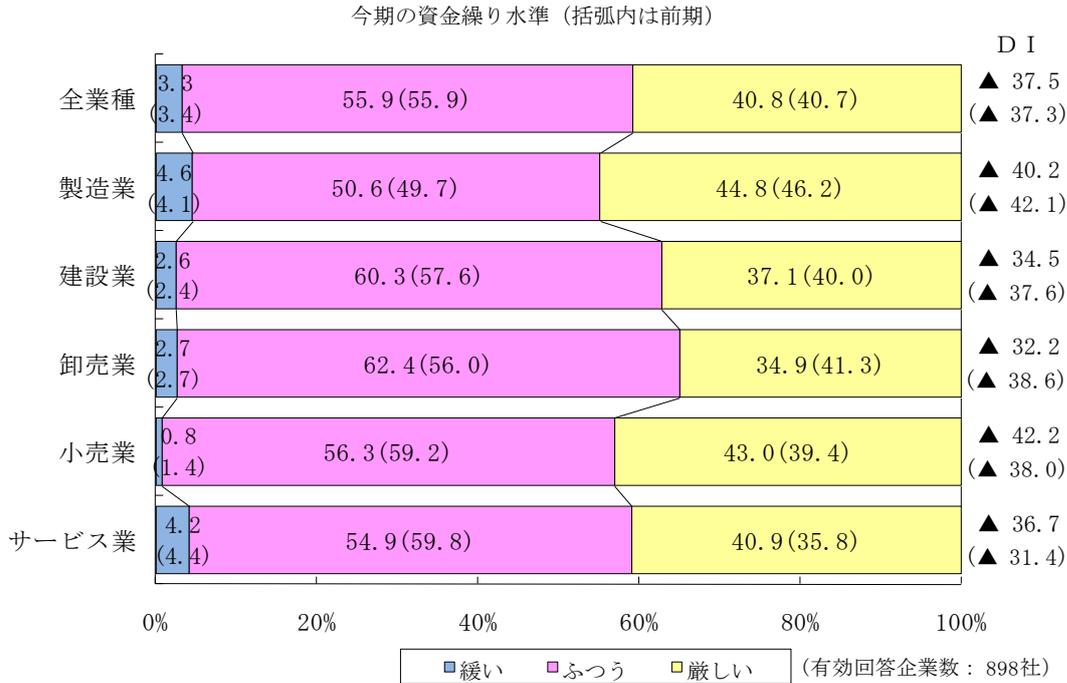
【質問10】前年同期（平成20年7～9月期）と比べた今期（平成21年7～9月期）の資金繰り状況はどうか。

前年同期と比べた今期の資金繰り状況（括弧内は前期）



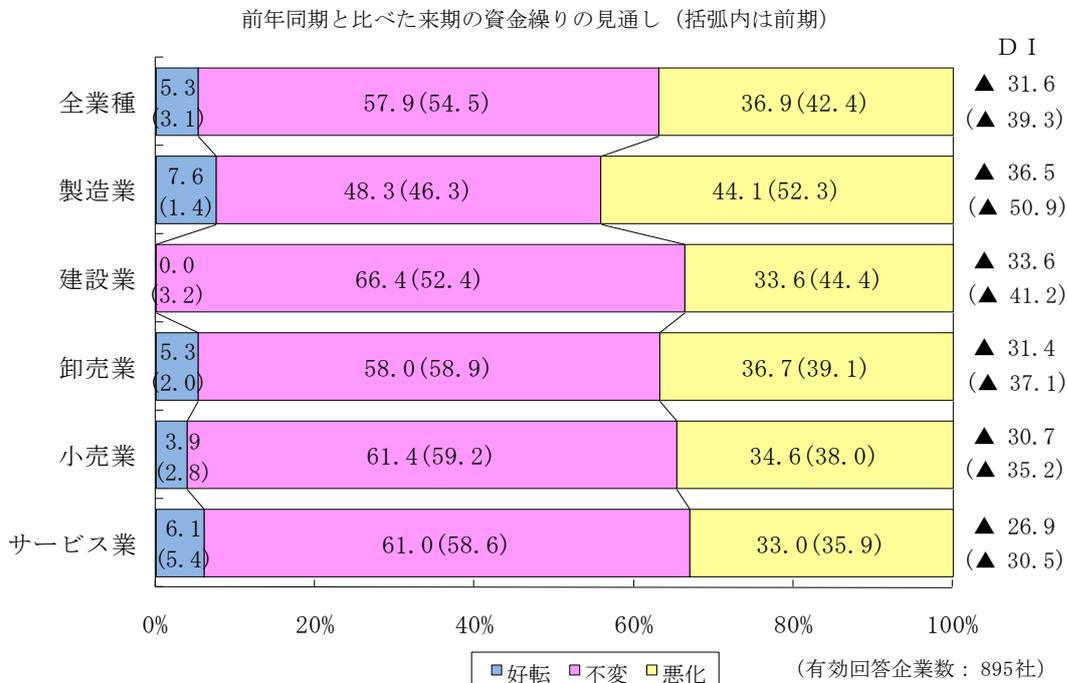
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲31.8と前回調査に比べ+3.5ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・小売業のみほぼ横ばいとなり、その他の業種ではマイナス幅が縮小した。特に建設業では▲26.9と前回調査に比べ+8.8となり、大幅にマイナス幅が縮小した。

【質問 1 1】 今期（平成 21 年 7～9 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準DI」は▲37.5 と前回調査に比べ-0.2 ポイントと横ばいとなった。
- ・小売業、サービス業でマイナス幅が拡大する一方、卸売業では▲32.2 と前回調査に比べ+6.4 ポイントと、マイナス幅が縮小した。

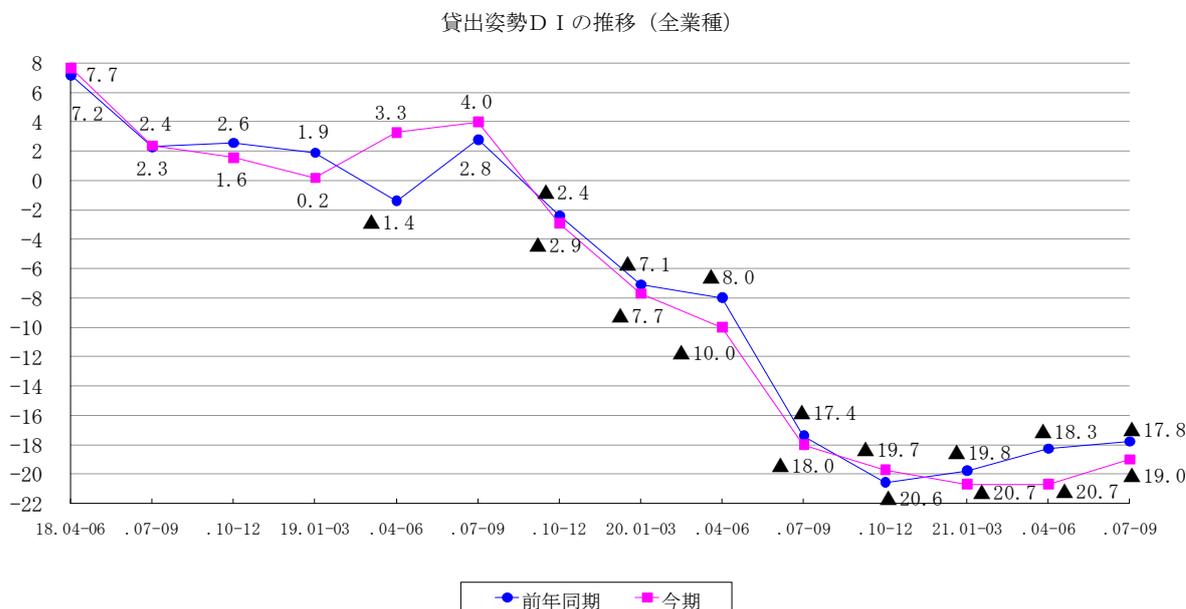
【質問 1 2】 前年同期（平成 20 年 10～12 月期）と比べた来期（平成 21 年 10～12 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



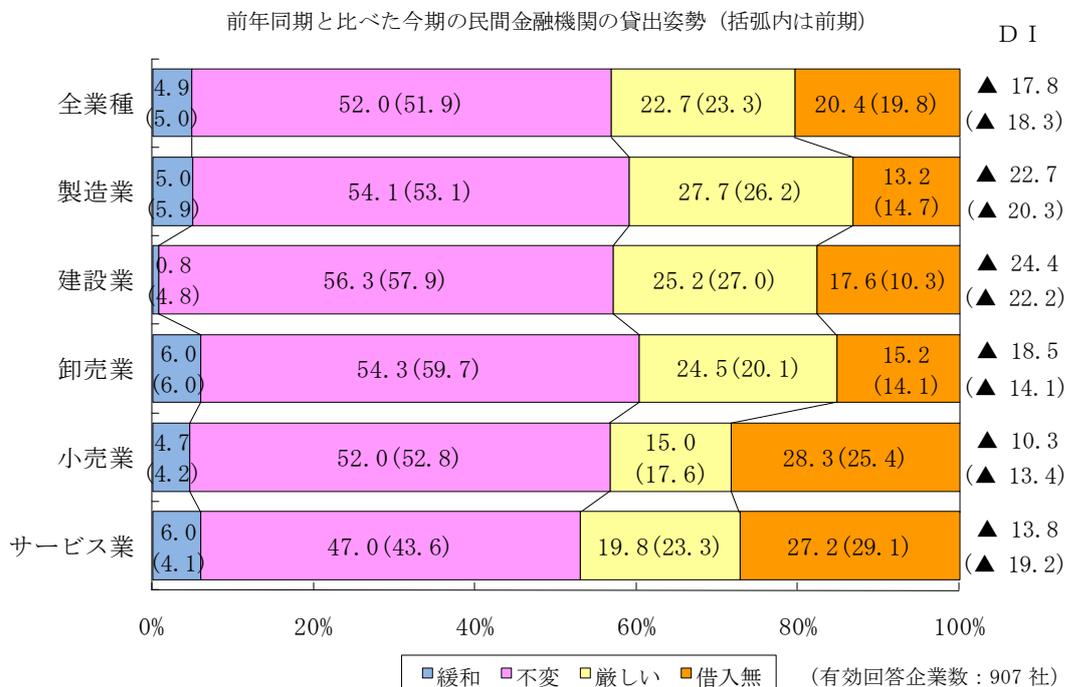
- ・全業種の「前年同期と比べた来期の資金繰り見通しDI」は▲31.6 と前回調査に比べ+7.7 ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に製造業では▲36.5 と前回調査に比べ+14.4 ポイントと、マイナス幅が大幅に縮小した。

## 5. 民間金融機関の貸出姿勢

○全業種の「民間金融機関の貸出姿勢 DI」は、前年同期比、今期水準ともに横ばいとなった。

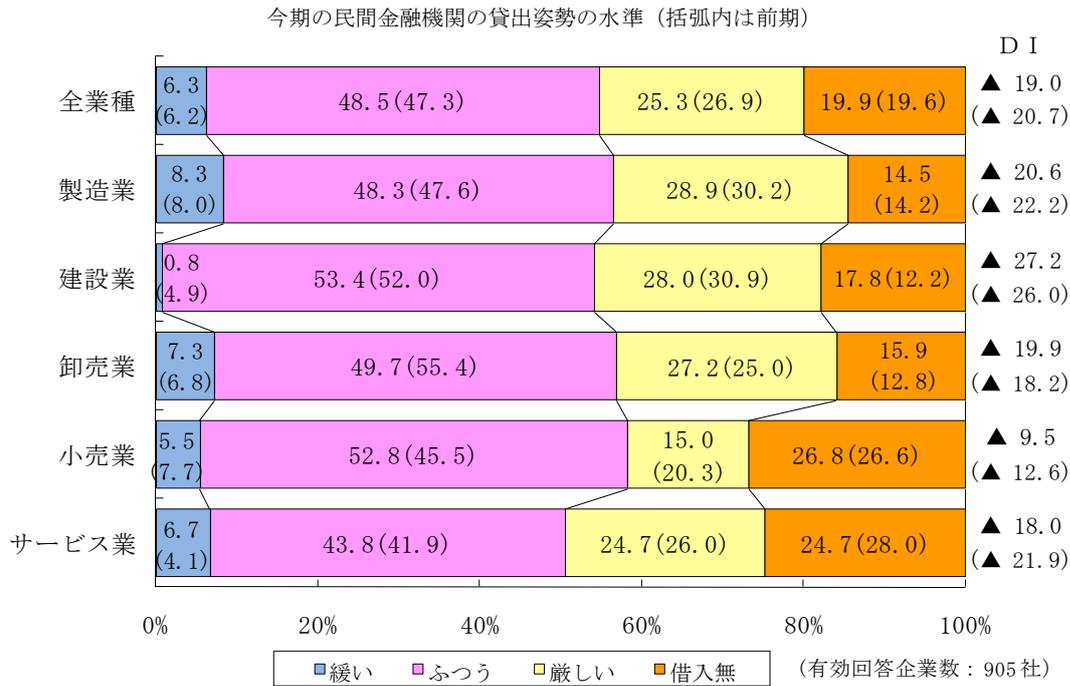


【質問13】前年同期（平成20年7～9月期）と比べて、今期（平成21年7～9月期）の民間金融機関の貸出姿勢は、変化がありましたか。



- 全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲17.8と前回調査に比べ+0.5ポイントと横ばいとなった。
- 建設業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した一方、卸売業では▲18.5と前回調査に比べ-4.4となり、厳しさが増した。

【質問14】今期(平成21年7~9月期)の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢DI」は▲19.0と前回調査に比べ+1.7と横ばいとなった。
- ・製造業、建設業、卸売業ではほぼ横ばい。小売業では▲9.5と前回調査に比べ+3.1ポイント、サービス業では▲18.0と前回調査に比べ+3.9ポイントと厳しさがやや緩和した。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成21年4月~6月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。